



地球上すべての人びとに平和に生きる権利を

9条地球憲章の会 第25回 公開研究会

国際ジャーナリスト (元朝日新聞記者)

伊藤 千尋さんの講演

ウクライナ危機、今こそ憲法9条を世界に



伊藤 千尋 (いとう ちひろ)

1949年、山口県生まれ、東大法学部卒。74年、朝日新聞に入社し長崎支局、東京本社外報部などを経てサンパウロ支局長(中南米特派員)、バルセロナ支局長(欧州特派員)、ロサンゼルス支局長(米州特派員)を歴任。2014年退職し現在はフリーの国際ジャーナリスト。NGO「コスタリカ平和の会」共同代表。「九条の会」世話人。これまで世界82カ国を現地取材した。

著書に『非戦の誓い〜「憲法9条の碑」を歩く』(あけび書房)、『連帯の時代〜コロナ禍と格差社会からの再生』『9条を活かす日本〜15%が社会を変える』『凜とした小国』(以上、新日本出版社)、『世界を変えた勇氣〜自由と抵抗51の物語』(あおぞら書房)、『13歳からのジャーナリスト〜社会正義を求め世界を駆ける』(かもがわ出版)、『反米大陸』(集英社新書)、『燃える中南米』(岩波新書)など。

2022年

4月21日 (木) 午後7時~9時

オンライン ZOOM による開催 参加無料
事前申し込み

ウクライナ危機、今こそ憲法9条を世界に

I. ロシアのウクライナ侵略

1. ウクライナとは
 - ・ロシアはウクライナを「小ロシア」と呼んで支配した
 - ・ヨーロッパの穀倉地帯、スターリンの収奪による350万人の餓死
2. オデッサの街から
 - 「戦艦ポチョムキン」の町で、ナチスの侵攻とユダヤ人虐殺「一人の命を救った人は世界を救った人だ」
3. ロシアの侵略理由を検証する
 - ①ウクライナへの大西洋条約機構(NATO)の拡大→ロシア自ら撒いた種
 - ②東部のロシア系住民を保護する→歴史上の大国が使った手口
4. 侵攻はなぜとん挫したか
5. 国連と世界の対応

II. 日本政府も「力の論理」〜憲法9条が最大の危機に

1. 自衛隊の南西シフト
 - 奄美、宮古、石垣島に陸上自衛隊のミサイル部隊を配備
 - 鹿児島県・馬毛島を自衛隊の拠点、米軍の訓練基地に
2. 破綻した抑止論
 - 自民党は防衛費をGDPの1%から2%に引き上げを主張→5兆円を10兆円に
 - 抑止論を進めると日本の生活は破綻する

III. 今こそ9条の出番

1. 米中間に立って平和国家として仲裁をはかるのが日本の道
 - 3つの内戦を仲裁しノーベル平和賞を受賞したコスタリカ
 - 9条を発案した幣原喜重郎首相
 - 9条を宣言した国に国連、大国が安全保障するシステムを
2. どうすれば日本の状況を打開できるか
 - ベルリンの壁を崩壊させた5人の若者、ロシアテレビ局のマリナさん
 - 9条地球憲章の会の活動を世界に

お申し込み方法 (お申し込み期限: 2022年4月20日(水) 23時59分)

下記の申込フォームに必要事項を入力してください。

<https://forms.gle/VurFjrCjwcvAZTNR7>

お申込みが完了すると、確認メールが届きます。

申込フォームへの入力ができない場合に限り、メールでのお申込みを承ります。メールの件名を「4月21日参加」とし、本文に氏名・フリガナ・メールアドレス(以上必須)・ご所属(任意)を明記して、9条地球憲章の会事務局(9.globalpeace@gmail.com)宛に、メールをお送りください。

お申込時に入力して頂いたアドレス宛に、4月21日(木)正午までに、Zoom接続に関するご案内と研究会の配布資料をお送りします。



連絡先 9条地球憲章の会事務局 9.globalpeace@gmail.com

HP <https://www.9peacecharter.org/>

FB <https://www.facebook.com/9peacecharter/>